

やさしさ、あたたかさを **発信!**



南阿蘇社協だより



「学童の夏」

夏休みが始まり、朝早くから
学童の元気な声が聞こえます。

No.50

平成26年.7.30
発行

編集・発行 社会福祉法人 南阿蘇村社会福祉協議会
TEL 0967-67-0294 FAX 0967-67-2317

支えあう
地域づくり



平成25年度社会福祉協議会の事業報告と収支決算は、5月16日に開催された業務監査において、事業の執行状況・会計経理の監査を行い、21日の理事会で認定を得て、23日の評議員会において承認されました。主な事業の報告と決算について報告します。

16. 第8回福祉運動会の実施 1,000人参加



福祉運動会

17. とまりがけサービス事業 5回実施 延べ88人参加



とまりがけサービス事業

18. 元気高齢者人材バンク事業

19. シルバー人材センター運営支援及び 福祉団体の運営支援

20. 熊本県共同募金会南阿蘇村分会の事務局運営

21. 日本赤十字社熊本県支部南阿蘇村分区の 事務局運営

22. 実習受入 (大学・高校・中学校 80人)

10. 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう金銭管理や福祉サービス等の利用援助を生活相談員の協力を得て行った。
(サービス利用者5人)

11. 援助活動の実施

年末見舞金の給付、初盆世帯への慶弔費支給、葬儀用祭壇貸付、福祉機器等の貸出

12. 防災ボランティア初級講習会 (20人参加)



防災ボランティア初級講習会

13. 健康生活支援講習会 (13人参加)

14. 幼児安全法講習会 (10人参加)



幼児安全法講習会

15. 学童保育事業(238日開設 延べ3,560人参加)

在宅福祉サービス

相談支援業務・介護保険事業・障害者居宅介護事業・村委託事業など在宅福祉サービスを実施しました。

7. 外出支援事業

191日実施、延べ362人利用

8. 介護予防はつらつ教室事業

162日実施、延べ289人利用

通所介護事業



1. 相談支援業務 相談件数333件

2. 居宅介護支援事業 延べ1,058人

3. 訪問介護事業(介護予防含む) 362日実施し、延べ4,528人利用

4. 通所介護事業(介護予防含む) 309日実施し、延べ7,515人利用

5. 障害者居宅介護事業 延べ663人利用

6. 食の自立支援事業 夕食を配食、延べ465人利用

法人運営事業

法人運営については、理事会・評議員会の運営のほか、経理事務をはじめとする財産管理や法務に関する業務など、法人運営とともに社協全体の管理業務を行いました。

1. 理事会の開催(5回)
2. 評議員会の開催(4回)
3. 監査 平成24年度決算監査
4. 寄附金の状況 3,192,280円(香典返し、病気見舞返し、一般寄付)
5. 会員加入状況
一般会員 2,660口
特別会員 57口
会費納入額 2,781,500円
6. 久木野総合福祉センターの管理 延べ14,204人利用

地域福祉活動の推進

住民参加や協働による福祉活動の支援、福祉コミュニティづくりなどを展開し、地域福祉推進の中核的な役割を果たすため、以下の事業を実施しました。

6. ワークキャンプ事業実施

小学校5校(102人参加)
中学校3校(59人参加)
感想文集作成(関係機関配布)



ワークキャンプ事業

7. 巡回法律相談所の開設

弁護士が相談に対応し、問題解決に努めた。
(相談件数34件)

8. 南阿蘇社協だより (6回発行)



9. 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)

1. 阿蘇やまびこネットワーク事業(26行政区で実施)



2. 災害ボランティアセンター設置推進事業

災害ボランティアセンターマニュアルの作成作業
要援護者台帳・マップ更新作業

3. ボランティアまつりの開催 300人参加

4. ボランティア養成講座の開催 25人参加

5. ボランティア協力校の指定 小中学校8校

日本赤十字社資募集にご協力いただきありがとうございました。

平成26年度の日本赤十字の社資募集につきましては、村民の皆様の温かいご理解とご協力によりまして、目標額に達成することができました。納めて頂きました社資は、幅広く展開されております日本赤十字社の各種の事業に充てられます。

○平成26年度日赤社資実績額

白水地区	特別社員	普通社員	人数計	合計額	長陽地区	特別社員	普通社員	人数計	合計額
両併一	0	106	106	53,000	東下田	0	124	124	123,500
両併二	0	76	76	76,000	下田	0	74	74	74,000
両併三	0	19	19	9,500	加勢	0	56	56	55,600
白川	0	177	177	177,000	川後田	0	41	41	41,000
吉田一	1	131	132	89,800	喜多	1	99	100	92,000
吉田二	0	89	89	59,500	栃木	2	62	64	66,000
吉田三	0	122	122	122,000	袴野	18	0	18	36,000
一関一	1	89	90	67,300	長野	0	91	91	90,500
一関二	0	38	38	38,000	乙ヶ瀬	0	55	55	55,000
中松一	0	104	104	104,000	沢津野	0	39	39	39,000
中松二	1	80	80	79,500	黒川	0	42	42	42,000
中松三	0	117	117	116,500	下野	0	123	123	69,500
合計	2	1,148	1,150	992,100	立野	11	84	95	88,500
久木野地区	特別社員	普通社員	人数計	合計額	新所	9	71	80	87,000
第1駐在	1	53	54	54,500	赤瀬	0	6	6	6,000
第2駐在	5	50	55	60,000	立野駅	1	55	56	55,500
第3駐在	1	79	80	81,000	合計	42	1,022	1,064	1,021,100
第4駐在	5	89	94	94,000	総合計	特別社員	普通社員	人数計	総計
第5駐在	7	72	79	86,000		71	2,834	2,905	2,713,300
第6駐在	1	40	41	40,500					
第7駐在	1	93	94	94,100					
第8駐在	5	151	156	151,000					
第9駐在	1	37	38	39,000					
合計	27	664	691	700,100					

¥2,713,300

南阿蘇村ボランティア連絡協議会 会員募集

いつでも・どこでも。
だれでも ボランティア!



南阿蘇村ボランティア連絡協議会では、村内で、ボランティア活動をされている個人・団体の皆さんが、それぞれの活動分野から一歩前進し、連携・協力しながら笑顔で楽しくボランティア活動に参加できる村づくりを目指しています。

随時、ボランティアに関する相談や入会募集を受付けていますので、是非この機会にボランティア活動に参加してみませんか?

お問い合わせ先 **南阿蘇村ボランティアセンター**
☎67-0294

平成25年度 一般会計決算報告

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、企業会計における損益計算書と利益処分計算書の2つの機能を有する計算書です。

事業活動収支の部

収入科目	合計
会費収入	2,781,500
寄附金収入	3,192,280
経常経費補助金収入	38,579,000
助成金収入	154,800
受託金収入	8,217,200
事業収入	90,000
共同募金配分金収入	3,100,911
介護保険収入	95,515,137
自立支援費等収入	2,451,500
利用料収入	674,800
雑収入	157,339
国庫補助金等特別積立金取崩額	435,666
事業活動収入計(1)	155,350,133

支出科目	合計
人件費支出	106,480,485
事務費支出	5,289,288
事業費支出	21,879,053
共同募金配分金事業費	2,851,615
助成金支出	2,230,000
負担金支出	539,800
減価償却費	2,117,547
引当金繰入	7,332,516
事業活動支出計(2)	148,720,304

事業活動収支差額(3)=(1)-(2) 6,629,829

事業活動外収支の部

収入科目	合計
受取利息配当金収入	8,674
経理区分間繰入金収入	1,260,000
事業活動外収入計(4)	1,268,674

支出科目	合計
経理区分間繰入金支出	1,260,000
事業活動外支出計(5)	1,260,000
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	8,674

経常収支差額(7)=(3)+(6) 6,638,503

特別収支の部

特別収入計(8)	0
固定資産売却損・処分損	31,502
特別支出計(9)	31,502
特別収支差額(10)=(8)-(9)	△31,502

当期活動収支差額(11)=(7)+(10) 6,607,001

繰越活動収支差額の部

前期繰越活動収支差額(12)	94,022,947
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	100,629,948
次期繰越活動収支差額	100,629,948

貸借対照表(平成26年3月31日現在)

貸借対照表は、会計年度末におけるすべての資産、負債および純資産の状態を表示した計算書類です。(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	97,757,493	流動負債	5,769,844
預貯金	80,164,096	未払金	4,553,729
未収金	17,445,317	預り金	1,216,115
前払金	148,080	固定負債	87,572,655
固定資産	140,589,959	退職給与引当金	87,572,655
基本財産	3,000,000	負債の部合計	93,342,499
その他の固定資産	137,589,959	純資産の部	
車両運搬具	5,151,587	基本金	3,000,000
器具及び備品	4,047,948	国庫補助金等特別積立金	577,226
長期預け金	19,990	その他の積立金	40,797,779
退職共済預け金	87,572,655	次期繰越活動収支差額	100,629,948
運用財産積立預金	40,797,779	(うち当期活動収支差額)	6,607,001
資産の部合計	238,347,452	純資産の部合計	145,004,953
		負債及び純資産の部合計	238,347,452

脚注 減価償却の累計額 36,463,484円

収支決算関係書類を閲覧希望の方は、南阿蘇村社会福祉協議会事務局までお申し出下さい。

作品募集します



障害の有無にかかわらず、誰もが地域や職場・学校などで共に支え合って暮らす「共生社会の実現を目指して、障害のある人とない人との心のふれあい体験を綴った「心の輪を広げる体験作文」と、障害のある人に対する国民の理解を広げるための「障害者週間のポスター」を募集します。

募集期間

平成26年7月1日～9月8日

応募先

〒862-8570 熊本県健康福祉部障がい者支援課
電話 096-333-2237 FAX096-383-1739

心の輪を広げる体験作文（題名は自由）

- **募集テーマ**
出会い、ふれあい、心の輪
～障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう～
- **応募資格**
小学生以上(特別支援学校の児童・生徒を含む)
- **応募方法**
募集は3部門(小学生部門、中学生部門、高校生・一般部門)
作品は、未発表のものに限る
小・中学校部門…400字詰め原稿用紙2～4枚程度
高一般部門…400字詰め原稿用紙4～6枚程度
題名、住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、性別、職業又は学校名(学年)、電話、FAX番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を添付

障害者週間のポスター

- **募集テーマ**
障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現
(高齢者や子育て中の人なども含め、皆が互いの違いを認め、支えあう社会について描くことも可)
- **応募資格**
小学生及び中学生(特別支援学校の児童・生徒を含む)
- **応募方法**
募集は2部門(小学生部門、中学生部門)未発表のものに限る
小学生部門…標語その他の文字を入れないこと
中学生部門…標語その他の文字入れ可能。但し「12月3日～9日は障害者週間」の標語は文字入れ不可。
B3判(四つ切) 縦長のみ 画材自由
住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、性別、学校名(学年)、電話、FAX番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を添付

私の生きがい



第9駐在区
西岡 広継さん
昭和4年1月22日生まれ(85歳)

インタビュー

○楽しみは何ですか？
◎福祉センターのデイサービスに来て皆さんと話をすることがです。それが、お盆に帰ってくる孫に会うのが楽しみです。
○元気の秘訣は何ですか？
◎何でん好き嫌いせずに食べることを気をつけたりします。それと、デイサービスに行くと皆と昔の思い出話で元気になります。
☆「家族の皆が元気であることが何よりです」の「三」笑顔で話されました。

日赤防災ボランティア 初級研修会開催

平成26年6月12日(木)、久木野総合福祉センターにおいて災害時に支援活動を行うボランティアの育成を目的に「日赤防災ボランティア初級研修会」を開催しました。日赤熊本県支部講師のご指導のもと16名の方が参加。ハイゼックス(災害救助用炊飯袋)を使用しての炊き出し訓練、心肺蘇生法やAEDの使用方法など、いざというときに役に立つ知識を学びました。



日赤熊本県支部
緒方 みゆき 先生



参加された皆さん

参加者の声

乙ヶ瀬区 大部 愛子さん

実際に体験することの大切さを感じました。これから防災の意識を高めていこうと思います。ちょっと緊張して参加しましたが、楽しく真剣に学ぶことができました。これからも機会があれば参加したいと思います。

喜多区 村石 朝夫さん

たいへん有意義で実践的な技術を学びました。こうした技術・技能を用いる機会は「ない」にこしたことはありませんが、いつ、何がおこるのか分からないので、万が一に備えておくことの大切さを実感しました。今回勉強したことを、忘れずに身につけたいと思います。

吉田三区 中川 勝代さん

災害炊き出し訓練、災害時高齢者支援について、午後からはAEDの使用方法や心肺蘇生法など、とてもためになる講習会でした。地区に帰ってみんなと一緒に勉強できたらいいなと思います。



心肺蘇生法

炊き出し訓練



夏祭り開催



日時 平成26年8月19日(火)～23日(土) AM11:00～PM1:30
場所 久木野総合福祉センター
内容 歌・踊り・出店など

どうぞお気軽においで下さい。
お待ちしております。

お問い合わせ先

南阿蘇村社会福祉協議会 ☎67-0294



障害者福祉サービス (障害程度区分認定が必要)

障害福祉サービスとして、居宅介護、行動援護、療養介護、生活介護等があります。利用にあたっては、障害程度区分の認定を受ける必要があります。詳しくは市町村の障がい者福祉担当課または市町村から委託を受けている相談支援事業所にご相談ください。

なお、介護保険サービスと障害福祉サービスに同様のサービスがある場合、介護保険サービスを優先して利用することとなります。

居宅介護(ホールヘルプ)

自宅で入浴、排泄又は食事の介護等を行います。

療養介護

医療と常時看護を必要とする方に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活のお世話を行います。

就労継続支援(雇用型・非雇用型)

一般企業等で就労が困難な方に、働く場を提供すると共に、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。

行動援護

自己判断能力が制限されている方が行動するときに、危険を回避するために必要な支援・外出支援を行います。

生活介護

常時介護を要する方に、昼間、入浴、排泄、食事等の介護を行うとともに、創作的活動等の機会を提供します。

自立訓練(機能訓練・生活訓練)

自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

地域支援事業

(市町村が独自に実施しているサービス)

介護保険サービス及び障害福祉サービスは介護保険法や障害者総合支援法に基づくサービスですが、これとは別に、各市町村が地域の实情に応じ提供しているサービスがあります。事業内容は市町村により異なりますので、詳しくは市町村の担当課へお尋ね下さい。



- 介護家族支援事業 (介護知識・技術の習得等を目的とした教室を開催します。)
- 配食サービス事業 (栄養改善が必要な高齢者等に対し、食事を届けます。)
- 家族介護継続支援事業 (介護者に対する健康チェック、介護用品の支給等を行います。)
- 高齢者短期入所事業 (介護が必要な高齢者を一時的に施設等で介護します。)



認知症は、身近な病気です。家族みんなで地域ぐるみで支えていきましょう。

熊本県認知症コールセンター

熊本市中央区上通町3-15 ステラ上通ビル3階 ☎096-355-1755

E-mail nintisho@oasis.osn.ne.jp



介護保険サービス (認知症の方は40歳から利用可)



自宅で生活しながら利用できるサービス(居宅サービス)として、訪問介護、訪問看護、訪問入浴介護、通所介護等があります。利用にあたっては、要介護認定を受ける必要がありますので、市町村の介護保険担当課や地域包括支援センターにご相談ください。

なお、既に受けているサービスを変更したい場合は、居宅介護支援事業所にご相談ください。

主な居宅サービスは次のとおりです。これ以外にも様々なサービスがありますので、市町村や地域包括支援センター等にお尋ねください。

訪問介護(ホームヘルプ)

ホームヘルパーが家庭を訪問し、日常生活のお世話や家事を援助します。

訪問入浴介護

簡易浴槽を家庭に持ち込んだり、訪問入浴者で訪問したりし、家庭での入浴を援助します。

通所リハビリテーション(デイケア)

病院や老人保健施設などにおいて、機能訓練、食事や入浴などのサービスを提供します。

福祉用具貸与(レンタル)

車イスや特殊寝台など、自立を支援するための用具をレンタルします。

訪問看護

医師の指示に基づいて、看護師や保健師が家庭を訪問し、健康チェックや療養指導を行います。

通所介護(デイサービス)

デイサービスセンター等において日常生活訓練、食事や入浴などのサービスを提供します。

短期入所(ショートステイ)

特別養護老人ホームや老人保健施設などにおいて、日常生活のお世話や機能訓練などのサービスを提供します。

住宅改修

手すりの取り付けや段差の解消などの改修費の一部を支援します。

ポイント
2

自分一人で介護を抱え込まない
介護の負担の軽減につながるサービス

家庭における 認知症介護のポイント



シリーズ 人と人をつなぐ “やまびこネットワーク”

立ちあげや連絡会など
お気軽にご相談ください。

白川区の活動状況



白川区
桐原宣春 区長

「若いもんの力」を活かして

白川区では、各地区の役員さんや老人会の皆さんの協力を得ながら、住民同士の助け合い活動「やまびこネットワーク事業」に取り組んでいます。

高齢者の方々の声掛けや公民館での「ふれあいサロン」活動を行い、地域の方に健康体操やレクリエーションをしてもらったり、「お茶会」をしながら世間話をしたりと老人会の行事と合わせながら、お互いの元気を確認しています。

白川区は、世帯数も多く、高齢化率も36%と高齢化はますます進むもの

と思われま。

今後は、地元の祭りや行事等に若い人の参加も呼びかけ「若いもんの力」をネットワーク活動に活かし、将来、白川区で安心して暮らしていけるようなしくみづくりを地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



お互いの元気を確認!



健康体操の様子

あとかき

毎日暑い日が続きます。

今年の夏もワークキャンプ事業が始まり、社協や福祉施設でたくさんの児童・生徒がボランティア体験を行います。人と人との関わりあいや支えあうことの素晴らしさを体感し、自ら学び、成長していく過程を大切にしていけたらと思ひます。

今年も福祉センターでは、日よけ対策としてゴーヤで緑のカーテンを作りました。ゴーヤはビタミンCを多く含む野菜で、食べた時の独特の苦味の「モモルデシン」という成分はとても身体に良いとの事で、胃腸の粘膜を保護したり食欲を増進する効果があり、夏バテしやすいこの時期に栄養をとるにはもってこいの野菜です。



ヘルシーサラダ

暑さもこれからが本番です。水分をこまめにとり、十分な睡眠とバランスのとれた食事(ゴーヤ料理)で体調管理に十分気をつけてお過ごし下さい。

みんなみんなの みなみちゃん



この広報紙は共同募金配分金で作成しています。